

| | | | |
|-------|-------|-----------|------------|
| 講義名 | 研究演習 | | |
| 講義コード | 15412 | 授業形態 | |
| 担当教員 | 羽森 直子 | 開講期・曜日・時限 | 通年 月曜日 5時限 |
| | | オンライン・コード | SEM350 |

| | |
|-------------------|------|
| 学部・学科 | 演習分野 |
| 経済学部（経済学科、経済情報学科） | 金融論 |

概要説明

皆さんもニュースなどで「経済」や「金融」などの言葉を耳にしない日はないくらいだろうと思う。当ゼミでは、日本経済や、経済学の中の「金融論」という分野についての知識を深めること、「書く・話す（プレゼン力）・聞く」というオールラウンドな力を高めること、の2点を目標とし、本学部のディプロマ・ポリシーである経済学の知識を幅広く修得し、総合的考察のできる人材育成を目指す。以下、それぞれの年次での概要を述べる。

3年次：前期は、2年次と同様のスタイル（教科書の発表、3分間スピーチ、長期休暇中の宿題等）で展開するが、司会・運営はゼミ幹事（学生2名程度）が行う。教科書は、引き続きモーガン・ハウセル「サイコロジー・オブ・マネー」（ダイヤモンド社）を使用する。後期は、卒業論文に関する研究発表を開始する。卒業論文のテーマの決定に関しては、基本的にゼミ生の自由意思が尊重される。3年次も、3分間スピーチは継続して実施する。長期休暇の宿題として、図書館主催の書評コンテストへの応募や新聞記事の要約を予定している。また、工場見学など校外学習、茶話会も実施予定である。

4年次：各自の卒業論文について研究発表を行い、論文の作成にあたる。

なお、当ゼミでは6月と11月に実施される「ニュース時事能力検定試験（N検）」を受験することを推奨している。

主な卒業論文のタイトル

電子マネーの現状とその将来像、EU通貨統合、日本版金融ビッグバン、日本の税制問題、クレジットカード会社について、中国に進出する日系企業について、新興市場における資金の流れ、プロ野球の経済効果と地域への影響、市民マラソン大会の経済効果、日本の公的年金制度、石油問題について、トヨタに学べの信憑性、言葉による意思伝達の不完全性、ガス業界の展望、プロ野球球団の経営戦略、ユーゴの経営戦略、パチンコ業界の知られざる裏側と問題点、Googleが支配する世界、道路交通制度の歴史、サッカー日本代表の軌跡と戦略、あんぱんの今と昔、ゲーム業界の企業戦略、色彩とマーケティング、ビットコインについて、スポーツの経済効果、オタクと経済、基本無料ゲームの課金戦略、日本人がiPhoneを保有する理由、コンビニエンスストアにおける陳列効果、飲食業界の新型コロナ禍による影響と展望、ビール業界の課題と展望 など

教員よりの要望

無断欠席は禁止します。出欠チェックは厳しく行います。

ゼミでは恥ずかしがらずにどんどん発言し、積極的に参加してください。当ゼミでは、無言で90分やり過ごすことは許されません。

ゼミでの事務連絡は基本的にメールで行います。最近、LINEのチェックは怠らないが、それ以外のスマホやPCアドレス宛のメールをチェックしない学生が急増しています。いずれ就職活動では企業との連絡で使用するアドレスかと思しますので、今のうちから1日1回はチェックする習慣をつけてください。

選考方法

2027年度の卒業研究(4年次)は非開講のため、他ゼミからの研究演習（2026年度開講）への転ゼミ生の受け入れは致しません。

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------|--|
| 評価方法 | |
| 研究演習：出席状況を含めた平常点、報告内容、レポートなど課題に基づいて評価します。ただし、欠席が授業回数の3分の1以上に達した場合は、研究演習の単位取得を認めません。 | |
| 卒業研究：出席状況を含めた平常点、報告内容、卒業論文に基づいて評価します。ただし、卒業論文を提出しない場合は、卒業研究の単位取得を認めません。 | |

| | |
|--------------|-------------|
| 教員英字氏名 | 研究室 |
| Naoko HAMORI | 研究棟 2714研究室 |

| |
|----------------------|
| 最終学歴 |
| 神戸大学大学院 経済学研究科博士後期課程 |

| |
|---------|
| 学位 |
| 博士（経済学） |

主な研究活動・社会活動・研究業績

著書：
『Introduction of the Euro and the Monetary Policy of the European Central Bank』with S.Hamori, World Scientific Publishing 2009.
『ドイツの金融システムと金融政策』（1998年中央経済社）
『欧州中央銀行の金融政策』（2002年中央経済社）等

論文：
『日本における中央銀行デジタル通貨に関する概念実証』（2024年流通科学大学論集第32巻第2号）
『スウェーデンにおける中央銀行デジタル通貨発行に向けての取り組み』（2023年流通科学大学論集第31巻第2号）
『中央銀行デジタル通貨の基本的特性と実証実験－中国、スウェーデン、カンボジアのケース－』（2022年流通科学大学論集第30巻第2号）
『中央銀行デジタル通貨の背景と影響について』（2021年流通科学大学論集第29巻第2号）
『ドイツにおける社会的市場経済の生い立ち』（2019年同志社商学第70巻第6号）
『ドイツ経済の構造変化とユーロ危機に関する分析』（2019年生命保険に関する調査研究報告書No29 かんぼ財団）
『ドイツ経済の構造変化とユーロ危機』（2019年流通科学大学論集第28巻第2号）
『ドイツ労働市場改革の功罪』（2017年流通科学大学論集第26巻第1号）
『ドイツポストバンクとゆうちょ銀行の違い』（2016年月刊金融ジャーナル2月号）
『ギリシャ債務危機に関する分析』（2016年流通科学大学論集第24巻第2号）
『欧州中央銀行のユーロ危機対策』（2015年流通科学大学論集第23巻第2号）
『ユーロ危機の原因』（2013年流通科学大学論集第22巻第1号）
『ドイツの銀行構造について』（2012年流通科学大学論集第20巻第2号）
『ドイツの金融システムを構成しているものは何か？』（2011年流通科学大学論集第19巻第2号）

趣味・特技
趣味：ダイビング（ライセンスは持っていますが、初級者レベルです）・スノーケリング（南の海でさんご礁やお魚を見ながらブカブカ浮いているのが好きです）、水泳（体型的に浮きやすいので、距離ならいくらでも??）、ボウリング（ガターにはならない程度）、読書（愛読書は児童書・絵本と日経サイエンスです）、洋裁（お友達に無理やり誘われて始めました。ぶきっちょなので、ミシンに向かうと頭の中が真っ白になります）、編み物（いい先生に恵まれて、ぼちぼちやっています）、コスプレ（英語の歌詞を覚えるのに四苦八苦しています）、散歩（非常事態宣言下に始め、週末は10kmほど歩く時もあります）

特技：どこでも眠れること、1年中食欲が落ちないこと

| |
|-----------|
| 所属 |
| 経済学部 経済学科 |

| |
|--------|
| 所属学会 |
| 日本金融学会 |

| |
|-----------|
| 専門分野 |
| 金融論、国際金融論 |

| |
|------------------------------------------------------------|
| 担当科目 |
| 金融論、金融政策論、国際金融論、経済特別演習、公務員特別演習、専門基礎演習、研究演習、研究演習、卒業研究、大学院科目 |

| |
|----|
| 備考 |
| |

| |
|-------------|
| 実務経験の有無及び活用 |
| |